



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場会社名 高千穂交易株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2676 URL <https://www.takachiho-kk.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井出 尊信
 問合せ先責任者 (役職名) コーポレートマネジメント本部長 (氏名) 岩本 昌也 TEL 03-3355-1111
 配当支払開始予定日 -
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する 四半期純利益 | |
|---------------|-------|------|------|-------|------|-------|----------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期第1四半期 | 6,068 | △5.5 | 183 | △60.5 | 167 | △73.5 | 68 | △85.0 |
| 2025年3月期第1四半期 | 6,421 | 5.6 | 464 | 47.5 | 631 | 10.0 | 458 | 16.4 |

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 153百万円 (△72.4%) 2025年3月期第1四半期 556百万円 (△15.0%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2026年3月期第1四半期 | 3.69 | - |
| 2025年3月期第1四半期 | 25.20 | 25.13 |

(注) 当社は、2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|---------------|--------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年3月期第1四半期 | 22,480 | 16,033 | 71.3 | 862.11 |
| 2025年3月期 | 23,459 | 16,834 | 71.8 | 905.18 |

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 16,033百万円 2025年3月期 16,834百万円

(注) 当社は、2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2025年3月期 | - | 58.00 | - | 102.00 | 160.00 |
| 2026年3月期 | - | - | - | - | - |
| 2026年3月期（予想） | - | 34.50 | - | 46.00 | 80.50 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は、2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2025年3月期については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属 する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|--------|-----|-------|-----|-------|------|---------------------|-----|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期（累計） | 14,200 | 6.7 | 950 | 1.5 | 910 | 12.1 | 640 | 7.6 | 34.41 |
| 通期 | 30,000 | 6.8 | 2,200 | 5.8 | 2,100 | 4.7 | 1,500 | 2.9 | 80.65 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2026年3月期1Q | 20,343,600株 | 2025年3月期 | 20,343,600株 |
| ② 期末自己株式数 | 2026年3月期1Q | 1,745,580株 | 2025年3月期 | 1,745,532株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2026年3月期1Q | 18,598,064株 | 2025年3月期1Q | 18,179,336株 |

(注) 1. 期末自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2025年3月期115,800株、2026年3月期1Q115,800株）が含まれております。

また、期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託（BBT）」制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2025年3月期1Q115,800株、2026年3月期1Q115,800株）が含まれております。

2. 当社は、2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しております。
また、2025年8月5日（火）に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当四半期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当四半期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| 四半期連結損益計算書 | 6 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 8 |
| (セグメント情報等の注記) | 9 |
| (収益認識関係) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (重要な後発事象) | 10 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかに回復しております。先行きについては、雇用・所得環境の改善や、各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されます。ただし、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクや、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響などが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場の変動等の影響に一層注意する必要があります。

当社グループの市場環境は引き続き競争激化の状況にありますが、持続的な成長と中長期的な企業価値向上を見据え、『注力事業への重点投資による事業成長』と『お客様伴走型で共に新しい未来と価値を創造』を基本方針として、事業戦略を推進しております。

事業戦略として、「ロイヤルカスタマー戦略の進化」、「サービスビジネスの成長」、「新規事業・グローバル事業の強化」、「成長投資60億円の実行」を掲げ、事業の拡大を図っております。

具体的には、ビジネスセキュリティセグメントでは、主要商品である商品監視システム、CCTVや入退室管理システムや新しく取り扱いを開始したサイバーセキュリティシステムなどセキュリティ商品の販売強化や付加価値強化、及び顔認証システムなどの画像認識やRFIDシステム、省人化システムなどのリテールソリューションの拡大を図っております。また、MSPサービスや万引情報配信プラットフォームなどのクラウドサービスの拡販も強化しています。

他方、エレクトロメカニクスセグメントでは、エレクトロニクス事業においては主に通信インフラ市場、IoTを主とした産業機器市場、プリンター等ビジネス機器市場やアミューズメント市場への拡販及びソリューションビジネスの拡大、及び東南アジア市場への拡販、またメカニクス事業では、引き続き成長が見込まれる半導体製造装置等の産業機器市場、国内、及び北米へのキッチン等の住宅設備向け機構部品の販売、アミューズメント市場への拡販やユニット商品の開発などに注力しております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は、リテールソリューションの総合スーパーやドラッグストア向け監視カメラや商品監視システムの販売が好調に推移したものの、前年同期が好調だったエレクトロニクス、及びビジネスソリューションの売上の反動減等により、前年同期比5.5%減の60億68百万円となりました。

損益につきましては、上記理由に加え、人員増強などにより販管費が増加したこと、営業利益は前年同期比60.5%減の1億83百万円、経常利益は外貨建取引の為替差損を計上したことなどから、前年同期比73.5%減の1億67百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比85.0%減の68百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

当第1四半期連結会計期間より、「クラウドサービス&サポートセグメント」と「システムセグメント」を、「ビジネスセキュリティセグメント」として統合しました。これは、クラウドサービス事業の拡大は一定の成果を得られたことと、セキュリティ市場というターゲット市場の明確化を目的にしたもので、今後、セキュリティ市場への販売を強化して参ります。

デバイスセグメントにつきましても、事業の内容をより分かりやすくするため、「デバイスセグメント」を「エレクトロメカニクスセグメント」へ名称を変更しております。

また、前年同期比較につきましては、変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

(ビジネスセキュリティセグメント)

ビジネスセキュリティセグメントの売上高は、前年同期比2.3%増の28億76百万円、営業利益は前年同期比25.0%増の1億17百万円となりました。

リテールソリューション商品類は、GMS（総合スーパー）やアパレル市場、及びドラッグ市場向けに監視カメラや商品監視システムの大型案件が好調に推移し、売上高は前年同期比31.4%増の10億9百万円となりました。

ビジネスソリューション商品類は、データセンター向け入退室管理システムや監視カメラシステムが好調に推移したものの、昨年度好調だった外資オフィス向け入退室管理システムや監視カメラシステム、及びメーリングシステムの販売の反動減により、売上高は前年同期比15.1%減の7億74百万円となりました。

グローバル商品類は、防火システムにおいて発電所建設計画の遅延などにより売上高が減少し、前年同期比5.5%減の6億61百万円となりました。

保守サービス商品類は、前年同期比0.3%減の4億31百万円となりました。

(エレクトロメカニクスセグメント)

エレクトロメカニクスセグメントの売上高は、前年同期比11.6%減の31億91百万円、営業利益は前年同期比82.1%減の66百万円となりました。

エレクトロニクス商品類では、受注は好調に推移しているものの、主に産業機器やビジネス機器向け電子部品の販売が低調に推移し、売上高は前年同期比14.6%減の19億95百万円となりました。

メカニクス商品類では、キッチン向けやオフィス機器向け機構部品の販売が好調に推移したものの、前期好調だった新紙幣改刷による銀行端末向け機構部品や発電設備向け部品、複合機向け機構部品の販売の反動減により、売上高は前年同期比5.9%減の11億95百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ9億78百万円減少し、224億80百万円となりました。これは商品及び製品が2億97百万円、投資有価証券が2億33百万円、その他流動資産が1億87百万円、契約資産が1億3百万円増加した一方で、売掛金が14億52百万円、現金及び預金が3億47百万円減少したことなどによるものです。

他方、負債は、前連結会計年度末と比べ1億77百万円減少し、64億47百万円となりました。これは短期借入金3億円、契約負債が2億93百万円増加した一方で、買掛金が3億52百万円、未払法人税等が3億1百万円、賞与引当金が1億99百万円減少したことなどによるものです。

純資産は前連結会計年度末と比べ8億円減少し、160億33百万円となりました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益68百万円、配当金の支払9億54百万円などにより、利益剰余金が8億85百万円減少したことなどによるものです。自己資本比率は前連結会計年度末から0.5ポイント下降し、71.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の第2四半期連結（累計）及び通期の連結業績予想につきましては、「2025年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」（2025年5月13日公表）で発表いたしました数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日) |
|-------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 6,026 | 5,679 |
| 受取手形 | 54 | 25 |
| 売掛金 | 6,562 | 5,109 |
| 契約資産 | 570 | 674 |
| 電子記録債権 | 745 | 743 |
| 商品及び製品 | 3,603 | 3,901 |
| 原材料 | 139 | 127 |
| 前払費用 | 1,418 | 1,502 |
| その他 | 114 | 302 |
| 貸倒引当金 | △28 | △28 |
| 流動資産合計 | 19,206 | 18,038 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 167 | 163 |
| その他(純額) | 236 | 228 |
| 有形固定資産合計 | 403 | 392 |
| 無形固定資産 | | |
| ソフトウェア | 122 | 140 |
| その他 | 6 | 2 |
| 無形固定資産合計 | 129 | 143 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 3,193 | 3,426 |
| 繰延税金資産 | 105 | 47 |
| 敷金及び保証金 | 329 | 334 |
| その他 | 91 | 99 |
| 貸倒引当金 | △0 | △0 |
| 投資その他の資産合計 | 3,719 | 3,907 |
| 固定資産合計 | 4,252 | 4,442 |
| 資産合計 | 23,459 | 22,480 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 3,005 | 2,653 |
| 電子記録債務 | 227 | 218 |
| 短期借入金 | — | 300 |
| リース債務 | 10 | 10 |
| 未払金 | 325 | 339 |
| 未払法人税等 | 325 | 24 |
| 契約負債 | 1,202 | 1,496 |
| 賞与引当金 | 351 | 151 |
| 役員賞与引当金 | 73 | 83 |
| 株主優待引当金 | — | 24 |
| その他 | 302 | 299 |
| 流動負債合計 | 5,823 | 5,601 |
| 固定負債 | | |
| リース債務 | 29 | 26 |
| 繰延税金負債 | 105 | 174 |
| 役員株式給付引当金 | 33 | 29 |
| 退職給付に係る負債 | 596 | 578 |
| その他 | 37 | 36 |
| 固定負債合計 | 801 | 846 |
| 負債合計 | 6,625 | 6,447 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,209 | 1,209 |
| 資本剰余金 | 1,189 | 1,189 |
| 利益剰余金 | 13,893 | 13,007 |
| 自己株式 | △861 | △861 |
| 株主資本合計 | 15,431 | 14,545 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 722 | 839 |
| 為替換算調整勘定 | 615 | 588 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 65 | 60 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,403 | 1,488 |
| 非支配株主持分 | 0 | 0 |
| 純資産合計 | 16,834 | 16,033 |
| 負債純資産合計 | 23,459 | 22,480 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 6,421 | 6,068 |
| 売上原価 | 4,800 | 4,617 |
| 売上総利益 | 1,621 | 1,451 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,157 | 1,267 |
| 営業利益 | 464 | 183 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 5 | 5 |
| 受取配当金 | 35 | 47 |
| 為替差益 | 117 | — |
| 受取保険金 | 1 | 1 |
| その他 | 7 | 6 |
| 営業外収益合計 | 167 | 60 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | — | 0 |
| 為替差損 | — | 76 |
| 支払手数料 | 0 | — |
| その他 | 0 | 0 |
| 営業外費用合計 | 0 | 77 |
| 経常利益 | 631 | 167 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 631 | 167 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 94 | 22 |
| 法人税等調整額 | 78 | 75 |
| 法人税等合計 | 173 | 98 |
| 四半期純利益 | 458 | 68 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 458 | 68 |

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 458 | 68 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △56 | 117 |
| 為替換算調整勘定 | 159 | △26 |
| 退職給付に係る調整額 | △4 | △5 |
| その他の包括利益合計 | 98 | 84 |
| 四半期包括利益 | 556 | 153 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 556 | 153 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 49百万円 | 44百万円 |

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | ビジネス セキュリティ | エレクトロ メカニクス | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-------------------|----------------|----------------|-------|-----|-----------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,813 | 3,608 | 6,421 | — | 6,421 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,813 | 3,608 | 6,421 | — | 6,421 |
| セグメント利益 | 93 | 370 | 464 | — | 464 |

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | ビジネス セキュリティ | エレクトロ メカニクス | 合計 | 調整額 | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-------------------|----------------|----------------|-------|-----|-----------------------|
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 2,876 | 3,191 | 6,068 | — | 6,068 |
| セグメント間の内部売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 2,876 | 3,191 | 6,068 | — | 6,068 |
| セグメント利益 | 117 | 66 | 183 | — | 183 |

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

2025年3月21日に「新中期経営計画 2025 - 2027 Security. Solutions. Synergy. ～ビジネスセキュリティ×エレクトロメカニクスで、進化の最先端へ～」を公表し、2025年4月1日付で組織変更を行っております。それに伴い、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の「クラウドサービス&サポート」、「システム」、「デバイス」の3区分から、「ビジネスセキュリティ」、「エレクトロメカニクス」の2区分に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を、商品類別に分解した情報は次のとおりであります。

(単位：百万円)

| 区分 | 前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日) |
|----------------|---|---|
| 保守サービス商品類 | 432 | 431 |
| リテールソリューション商品類 | 768 | 1,009 |
| ビジネスソリューション商品類 | 912 | 774 |
| グローバル商品類 | 700 | 661 |
| ビジネスセキュリティ 計 | 2,813 | 2,876 |
| エレクトロニクス商品類 | 2,337 | 1,995 |
| メカニクス商品類 | 1,271 | 1,195 |
| エレクトロメカニクス 計 | 3,608 | 3,191 |
| 顧客との契約から生じる収益 | 6,421 | 6,068 |
| その他の収益 | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 6,421 | 6,068 |

(注) 当第1四半期連結会計期間より、顧客との契約から生じる収益の区分を従来の「クラウドサービス&サポート」、「システム」、「デバイス」の3区分から、「ビジネスセキュリティ」、「エレクトロメカニクス」の2区分に変更しております。

前第1四半期連結累計期間の顧客との契約から生じる収益は、商品類別に分解した情報を、変更後の区分により作成したものを記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。